GRANPOWER5000 モデル280 取扱説明書の追記と修正

このたびは、弊社の GRANPOWER5000 モデル 280 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます.
本サーバに添付されております「GRANPOWER5000 モデル 280（1998 年 10 月発表ﾀｲﾌﾟ）取扱説明書(B1FH-4861-03)」をはじめとする本装置に添付されるマニュアルに内容の追加・訂正がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読み下さるようお願いいたします.

平成 11 年 9 月
富士通株式会社

概要

1．『GRANPOWER5000 モデル 280 取扱説明書』への追記

『GRANPOWER5000 モデル 280（1998 年 10 月発表ﾀｲﾌﾟ）取扱説明書』に対する追加記事および誤記訂正を以下に記します。

（1）SBS4.5 のインストール

SBS4.5 のインストール手順を追加します。

6.3.5　SBS 4.5のインストール

ここでは、SBS 4.5を初めてサーバにインストールする方法について説明します。

■インストール時の留意事項

- インストールを開始する前に、SBS 4.5に添付の「Small Business Serverファーストステップガイド」をご一読ください。
- FAXモデムカードを搭載する場合の注意事項
  FAXモデムカード(FMV-FX531)を使用する場合は、SBS 4.5をインストールする前に、FAXモデムカードのシステム資源などを設定する必要があります。設定方法については、「5.6.10 FAXモデムカード」を参照してください。
- FAXモデムカードドライバをインストール時の注意事項
  SBS 4.5インストール後、FAXモデムカード(FMV-FX531)をインストールするときは、本サーバに添付されている「内蔵FAXモデムCFGファイル」のフロッピィディスクを使用してください。FAXモデムカードに添付されている「Microsoft® Windows® 95 FMV-FX531 INF file」フロッピィディスクは使用しないでください。このフロッピィディスクはWindows95用です。

・SBS 4.5のインストールにはディスク容量2GB以上の空き容量が必要です。

■インストール手順

以下に、SBS 4.5をインストールする手順について説明します。SBS 4.5のインストールは、Windows NT Server 4.0と基本的に同じです。ここでは、Windows NT Server 4.0のインストール手順と異なる箇所を中心に説明します。
以下の説明では、次の装置を対象にしています。

－　サーバ本体に標準実装のSCSIホストアダプタ配下にSBS 4.5をインストールするハードディスクが接続されており、またサーバ本体内にネットワークカードおよびFAXモデムカード(FMV-FX531)が装着されている装

置を対象にしています。

－　SCSIアレイコントーラカードをご使用の場合

サーバ本体に実装のSCSIアレイコントローラカード配下にSBS 4.5をインストールするハードディスクが接続されており、またサーバ本体内にネットワークカードおよびFAXモデムカード(FMV-FX531)が装着されている装置を対象にしています。

1. 電源投入前にSBS 4.5セットアップディスク#1をセットします。
   SBS 4.5セットアップディスク#１をフロッピィディスクドライブにセットし、サーバに電源を入れます。
   このとき、CD-ROMドライブにCD-ROMが入っていないことを確認してください。
2. 以降は、Windows NT Server 4.0のインストール手順とほぼ同様です。
   「6.3.3 Windows NT Server 4.0のインストール」の「■インストール手順」の手順2～8を参照してください。
3. Windows NTをインストールするハードディスクユニットのパーティションを選択する旨のメッセージが表示されます。
   画面に従って、2GBのパーティションを作成します。
   必ずNTFSファイルシステムでフォーマット後、インストールを続行してください。
4. メッセージに従って、インストールを続行してください。
5. SCSIドライバのフロッピーディスクを要求する画面が表示されます。

   次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください
   「Symbios Logic PCI (53c8xx)」

   が表示されたら、本体添付のセットアップディスク#3をフロッピィディスクドライブにセットして[Enter]キーを押してください。
6. SCSIアレイコントーラカードをご使用の場合、SCSIアレイコントローラカードドライバのフロッピーディスクを要求する画面が表示されます。

   次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください

   [GP5-141A/GP5-142搭載時]
   「DAC960 Software Kit Version 1.06」

   [GP5-143搭載時]
   「GP5-143/144/145 WindowsNT Drivers Disk」

   が表示されたら、SCSIアレイコントローラカードソフトウェアキットまたはドライバディスクをフロッピィディスクドライブにセットして[Enter]キーを押してください。
7. 自動的に再起動します。
   このとき、再起動処理が開始したらすぐに、フロッピィディスクドライブからフロッピィディスクを取り出してください。
8. 再起動後、画面に従ってインストールを続行してください。
   再起動後、「無効なディスプレイ設定」画面が表示されますが、セットアップを続行してください。
   なお、ディスプレイドライバを入れ替えるまでこのメッセージが表示されますが、インストールには問題ありません。
9. FAXモデムカードドライバをインストールします。
   セットアップ中にFMV-FX531を搭載した場合、COM3に「未検出のモデム」として検出します。
   ・[変更]をクリックします。
   ・RASの再編成に関するメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
   ・モデムのプロパティのダイアログボックスが表示されますので、[削除]をクリックし続いて[はい]をクリックします。
   ・[追加]をクリックし、「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、[次へ]をクリックします

・[ディスク使用]をクリックし、本体添付の「内蔵FAXモデムCFGファイル」フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットし、[OK]をクリックします。
・「FMV-FX531」を選択し、[次へ]をクリックします。
・「選択したポート」の「COM3」を選択し[次へ]をクリックします。
・「システムを再起動する必要があります」というメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
・「所在地情報」のダイアログボックスが表示されますので、必要な情報を入力し、[次へ]をクリックします。
・[完了]をクリックします。
・[閉じる]をクリックし、「モデムのプロパティ」のページを閉じます。
・ダイヤルネットワークの構成に関するダイアログボックスが表示されますので、「未検出のモデム」を選択し、[削除]をクリックします。
・ポートCOM3を削除するかどうかのメッセージが表示されますので、[はい]をクリックし、続いて[追加]をクリックします。
・「RASデバイスの追加」のダイアログボックスが表示されますので、「COM3-FMV-FX531」を選択し[OK]をクリックし、続いて[続行]をクリックします。
・今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
・再起動処理が開始したらすぐにフロッピーディスクを取り出してください。

注意）再起動時の注意
インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1分ほど待ってから、再起動してください。

10. 再起動後、本体添付のLANドライバをインストールします。
・セットアップ中に「ハードウェア確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[変更]をクリックします。
・コントロールパネルが表示されますので、「ネットワーク」をダブルクリックします。
・「ネットワーク」ダイアログボックスの「アダプタ」タブを選択し、現在表示されている「Intel 82557-based Ethernet PCI Adapter」を選択し、[削除]をクリックします。
・コンピュータを再起動します。
・再起動後、LANドライバが無いためイベントログに複数のエラーが記録されますが無視してください。再度「ハードウェアの確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[変更]をクリックします。
・コントロールパネルが表示されますので、「ネットワーク」をダブルクリックします。
・「ネットワーク」ダイアログボックスの「アダプタ」タブを選択し、[追加]をクリックします。
・[ディスク使用]をクリックし、本体添付のLANドライバの組み込みを行ってください。

LANドライバのインストール方法に関する詳細は、それぞれ以下を参照してください。
－LANカード（GP5-184）を同時に搭載する場合は、LANカード（GP5-184）に添付のマニュアル
－LANカード（GP5-184）を同時に搭載しない場合は、「6.5.1 WindowsNT Server対応LANドライバ」
TCP/IPのパラメータには、以下の値を設定してください。

ＩＰ アドレス ：10.0.0.2
サブネット マスク：255.255.255.0
プライマリ WINS サーバー：10.0.0.2
セカンダリ WINS サーバー：10.0.0.2

・今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
・再起動処理が開始したらすぐにフロッピーディスクを取り出してください。

注意）再起動時の注意
インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1分ほど待ってから、再起動してください。

11. 再起動後、本体添付のディスプレイドライバをインストールします。
- セットアップ中に「ハードウェア確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[変更]をクリックします。
- コントロールパネルが表示されますので、「画面」をダブルクリックします。
- 「無効なディスプレイ設定」画面が表示されていますので[OK]をクリックします。
- [ディスプレイの種類]―[変更]―[ディスク使用]をクリックします。
- サーバ本体添付のセットアップディスク#4をフロッピードライブに挿入し、[参照]をクリックします。
- 「NT4.0」ディレクトリから「Atirage」を選択し、[開く]をクリックします。
- [OK]をクリックし「ATI 3D RAGE IIC AGP」を選択し、[OK]をクリックします。
- 「続行しますか」というメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- ファイルコピーが終了した後、[閉じる]をクリックし、続いて[適用]をクリックします。
- 再起動を促すメッセージが表示されますので、[はい]を選択します。
- 再起動後、再度「ハードウェアの確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[変更]をクリックします。
- コントロールパネルが表示されますので、「画面」をダブルクリックします。
- 解像度、および表示色数を以下のとおりに設定してください。

  カラーパレット：65536色

  デスクトップ領域：800×600
- [テスト]ボタンを押し、テスト表示を行います。
- 正しく表示されたことを確認し、[はい]をクリックします。
- [適用]をクリックした後、[OK]をクリックします。
- セットアップ画面に戻り、画面の指示に従ってインストールを続行します。
- 今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- 再起動処理が開始したらすぐにフロッピーディスクを取り出してください。

注意）再起動時の注意

インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1分ほど待ってから、再起動してください。

12. 自動的にサービスパック４のインストールが開始され、完了すると再起動します。
再起動後、SBS 4.5セットアップの画面に従って続行します。
13. ハードディスクのモードを変更します。
本サーバに内蔵ハードディスクユニット(IDE)を搭載している場合は、UltraDMA/33モードに変更することができます。変更する場合は、「6.3.8 内蔵ハードディスクユニット(IDE)のUltraDMA/33モードへの変更について」を参照して変更してください。
14. 運用に入る前に「システム修復ディスク」を作成することをお勧めします。
作成方法は、後述の「■システム修復ディスクについて」を参照してください。

■SBS 4.5インストール後の注意事項

以下に、SBS 4.5インストール後の注意事項を示します。

- SBS 4.5にはWindows NT Service Pack 3以前を絶対にインストールしないでください。誤動作の原因になります。
- FAXモデムカードを使用するCOMポートの設定について
SBS 4.5インストール直後は、シリアルポートにCOM4は設定されていません。FAXモデムカードをCOM4で使用する場合は、COM4を追加設定する必要があります。ただし、ICUおよびFAXモデムカード側で事前にCOM4を設定後に、SBS 4.5をインストールした場合は、異なるCOMポートにインストールされてしまいます。その場合は、いったんFAXモデムカードを削除し、COM4を追加設定し、再度FAXモデムカードを追加してください。また、FAXプリンタを使用する場合も、FAXモデムカードと同様に、FAXプリンタをいったん削除してから、追加してください。したがって、SBS 4.5でCOM4を使用する場合は、SBS 4.5をインストールしてから、装置側のCOM4の設定を行う必要があります。以下に、COM4の追加設定方法を示します。
  1. 「コントロールパネル」から「シリアルポート」を選択します。

現在使用できるシリアルポートの一覧が表示されます。

2. 「追加(A)...」を選択します。
   「新しいポートの詳細設定」画面が表示されます。
3. I/Oポートアドレス、割り込み番号(IRQ)を正しく設定し、[OK]を選択します。
   ICUで設定した値およびFAXモデムカードに設定した値と合わせます。
4. 再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、「再起動する」を選択し、再起動します。

FAXモデムおよびFAXプリンタの追加／削除方法の詳細については、SBS管理コンソールのオンラインガイドで、FAXの項目を参照してください。

■システム修復ディスクについて

SBS 4.5のセットアップ後、またはシステム構成の変更後に、「システム修復ディスク」を作成してください。万一、Windows NTシステムファイル、システム構成、およびスタートアップ時の環境変更などが損傷を受けた場合は、修復ディスク上に保存した修復情報を使ってこれらを再構築できます。

●修復ディスクの作成方法

[用意するもの]

－2HDのブランクフロッピィディスク1枚

1. フロッピィディスクに「システム修復ディスク」というラベルを貼り、フロッピーディスクドライブにセットします。
2. Small Business Serverコンソールの[その他のタスク]─[ディスクの管理]─[システム修復ディスクの作成]をクリックします。「システム修復ディスクを作成する」というヘルプが開きますので、ヘルプの指示に従ってシステム修復ディスクの作成を行ってください。

●システムの修復方法

[用意するもの]

－2HDのブランクフロッピィディスク1枚
－SBS 4.5 Disc1
－SBS 4.5セットアップディスク3枚
－システム修復ディスク（上記で作成したもの）

[SBS 4.5のシステムを修復する前に]

SBS 4.5に添付されている「セットアップディスク#2」ではシステムの修復ができません。
以下の手順に従って、「セットアップディスク#2」を準備します。

1. 2HDフロッピィディスクに「システム修復用セットアップディスク#2」というラベルを貼り、フォーマットします。
2. 「システム修復用セットアップディスク#2」に、SBSのセットアップディスク#2を複写してください。
3. 「システム修復用セットアップディスク#2」内の「WINNT.SIF」ファイルを削除してください。

ここで作成した「システム修復用セットアップディスク#2」をセットアップディスク#2の代わりに使用して、システムを修復してください。

[システムの修復方法]

1. 電源投入前に作成したセットアップディスク#1を準備します。
   セットアップディスク#1をフロッピィディスクドライブにセットし、サーバに電源を投入します。
2. Windows NT Serverセットアップ初期画面が表示されます。
   セットアップ初期画面の指示に従って、セットアップディスクの交換を行います。
3. Windows NT Serverセットアップの「セットアップへようこそ」の画面で、「R」キーを押して修復を選択します。
   セットアップ画面のメッセージに従って、システムを修復します。
   CD-ROMドライバ、およびSCSIドライバのインストールについては、「■インストール手順」を参照してください。
4. 次のメッセージが表示されます。

Windows NTセットアップ
[ファイル名]は、セットアップがWindows NTをインストールしたときにコピーしたオリジナルのファイルではありません。

ここでは必ず[Esc]キーを押し、ファイルをスキップしてください。
もし、[A]キー、または[Enter]キーを押し、ファイルを上書きしてしまうと、システムは正常に動作しなくなり、再インストールしなければなりません。

5. 自動的に再起動します。

ポイント

－システムの修正を行うと､情報によっては新規インストール状態に戻ってしまう場合があります。システムの修復後、再設定する必要があります。
－SBS 4.5標準添付のアプリケーションについて、再インストールが必要になる場合があります。
－システムファイル、システム情報の損傷が大きい場合は、SBS 4.5の再インストールが必要になる場合があります。その場合は､「■インストール手順」に従って再インストールしてください。
－システムのコンポーネントを変更したり、追加したりした場合、その度に修復ディスクを作成しなおしてください。

■ SCSIアレイコントーラカード　管理ソフトウェアのインストール

SCSIアレイコントーラカードをご使用の場合、管理ソフトウェアをインストールします。

● 管理ソフトウェアのスタートアップグループへの登録

SCSIアレイコントローラカードに添付のマニュアルに従って、管理ソフトウェアをインストールしてください。

● 管理ソフトウェアについて

管理ソフトウェアには､DACMON（Disk Array Controller Monitor）ユーティリティとDACADM（Disk Array Controller Administration）ユーティリティがあります。
DACMONユーティリティは、アレイ状況の監視を行うためのソフトウェアです。
DACADMユーティリティは、アレイの管理を行うためのソフトウェアです。
詳細は、SCSIアレイコントローラカードに添付の取扱説明書を参照してください。

（2）「付録A．1 本体仕様」

SBS4.5 モデル追加にともない以下の記述を変更いたします。

GRANPOWER5000 モデル 280

モデル		FD タイプ	NT 4.0 タイプ	NT 4.0 SSP タイプ	SBS4.0 タイプ	**SBS4.5 タイプ**	アレイタイプ 18.2GB
型名	Pentium® Ⅲ 450MHz(512KB)	GP528W1A3	GP528W1N3	ﾀｲﾌﾟ 1 : GP528W1ND3	GP528W1M3	**GP528W1M5**	GP528W1T3
	Pentium® Ⅲ 500MHz(512KB)	GP528N1A3	GP528N1N3	ﾀｲﾌﾟ 1 : GP528N1ND3	GP528N1M3	**GP528N1M5**	GP528N1T3
	Pentium® Ⅲ 550MHz(512KB)	GP528V1A3	GP528V1N3	ﾀｲﾌﾟ 1 : GP528V1ND3	GP528V1M3	**GP528V1M5**	GP528V1T3
CPU	周波数／2 次キャッシュ	Pentium ® Ⅲ 450MHz, 500MHz, 550MHz（512KB）					
	マルチ数	1（最大 2）					
メモリ	標準	128MB(128MB DIMM×1 枚)					
	増設単位	64/128/256MB(DIMM1 枚構成)					
	最大	4 スロット 1GB(256MB DIMM×4 枚)					
ビデオ RAM 容量		2MB					
グラフィックス		VGA チップ：ATI RAGE Ⅱ C (AGP) 640×480, 800×600 , 1024×768 表示色:解像度、OS などによって異なる					
サーバモニタモジュール		オプション					
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ(標準搭載含む) 種類：CD-ROM ユニット，DAT ユニット，光磁気ディスクユニット， 1/4 インチ CRMT ユニット，TRAVAN NS ユニット					
	標準搭載	CD-ROM（IDE）					
内蔵 3.5 インチベイ		4 ベイ(標準搭載ハードディスクユニットを含む)					
ハードディスク	標準	オプション	8.4GB×1(IDE)				9.1GB×3 (SCSI)
	増設単位	9.1GB (UltraWideSCSI)					
	内蔵最大	9.1×4 ベイ=36.4GB					
ディスクアレイ		オプション					標準
拡張スロット		PCI×3，ISA×2					
フロッピィディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載					
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T)×1 (マザーボード標準搭載)， シリアル×2，パラレル×1，キーボード，マウス，モニタ					
キーボード / マウス		標準添付					
外形寸法		横幅 219mm×奥行き 549mm×高さ 456mm					
重量		25Kg					
消費電力		最大 250W (最大 900 KJ/h)					
電源		AC100V (50 / 60Hz) 二極接地型					
エネルギー消費効率 (省エネ法)		80W	100W				

－ 以上 －